

予算特別委員会（全体会） 記録	
開 会 年 月 日	平成 30 年 3 月 22 日
開 会 時 刻	午前 9 時 57 分
散 会 時 刻	午前 10 時 31 分
出 席 委 員 名	◎鈴木豊司 ○世古 明 宮崎 誠 久保 真
	中村 功 井村貴志 上村和生 北村 勝
	楠木宏彦 野崎隆太 吉井詩子 野口佳子
	岡田善行 福井輝夫 辻 孝記 吉岡勝裕
	品川幸久 藤原清史 黒木騎代春 小山 敏
	浜口和久 山本正一 宿 典泰 世古口新吾
	中山裕司
	西山則夫議長
欠 席 委 員 名	な し
署 名 者	宮崎 誠 久保 真
担 当 書 記	森田 晃司
審 議 案 件	議案第 1 号 平成 30 年度伊勢市一般会計予算外 9 件一括
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与

審査経過

鈴木委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、1件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については、正副委員長に一任することと決定した。

なお、一括10議案の起立採決の結果、「議案第1号」、「議案第4号」については賛成多数、他の8議案については、それぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午前9時57分

◎鈴木豊司委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名は、当初決定のとおりでございます。

それでは、「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、まず議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、審査に入ります。

各分科会から報告をお願いいたします。

最初に、産業建設分科会、世古会長からお願いいたします。

世古会長。

○世古明産業建設分科会会長

去る3月5日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」外5件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月8日及び9日に審査を行いました。

「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第5号平成30年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」、「議案第6号平成30年度伊勢市観

光交通対策特別会計予算」、「議案第7号平成30年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第9号平成30年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第10号平成30年度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、歳出でございますが、総務費においては、公共交通の再編について、路線バスの空白地区や高齢者等の市民の意見を反映していくことを求める意見がありました。

労働費においては、就労支援について、制度をより一層周知していくことを求める意見、及び卒業生の動向調査を行い、就労支援につなげることを望む意見、サンライフ伊勢のインストラクターの配置状況の改善を求める意見がありました。

農林水産業費においては、認定農業者がふえない状況の改善を期待する意見、農作物のブランド化について、現在の6品目に限らずに誇りが持てるように他の品目についても推進していくことを期待する意見、及び販路拡大の研究を期待する意見、伊勢のいちご産地強化について、新規就農者への育成環境の強化により取り組みの広がりを期待する意見、地産地消推進について、消費量がふえることを期待する意見、湛水防除事業について、国・県及び市内の連携をとった防災対策を求める意見、獣害防止について、地元との意見交換等による状況把握に努め、効果的な支援を求める意見、水産業の振興について、干潟を拡大するための効果的な支援を期待する意見がありました。

商工費においては、創業支援について、創業者の支援に加えて廃業を減らす取り組みに期待する意見がありました。

観光費においては、全国高校総体のおもてなしについて、関係機関と連携し、伊勢のPRにつなげていくことを期待する意見、二見海水浴場の管理について、新たな魅力の創出を期待する意見、国・県や周辺市町と連携した情報発信を望む意見、国際観光都市を目指すためには、市長のトップセールスも必要であるとの意見、新たなコンセプトによる情報発信を期待する意見、外国人観光客誘致推進について、アジアや欧米に対しての新たな展開を期待する意見、費用対効果の観点を持って事業に取り組むことを期待する意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、計画に基づいていち早く進めることを期待する意見、工事の発注時期について、平準化に取り組むことを期待する意見、橋梁の長寿命化について、国の計画以上の目標で取り組めるような体制づくりを期待する意見、宇治山田駅周辺道路の整備について、混雑時の課題に対して抜本的な対策を求める意見、勢田川の未整備部分の工事について、早期に着工できるよう関係機関との協議が進むことを望む意見、内水対策について、抜本的な対策を望む意見、宇治山田港湾について、不法係留船舶に対する実態調査及び航路のしゅんせつをすることにより港の活性化につなげることを求める意見、鉄道による南北分断の解決に向けた取り組みに期待する意見、公営住宅の管理経費について、行財政改革の視点から改善を求める意見、空き家の利活用を促進し、人口増加につなげていくことを期待する意見がありました。

次に、歳入でございますが、みえ森と緑の県民税市町交付金の有効活用を望む意見がありました。

次に、特別会計でございますが、観光交通対策特別会計においては、経費削減の面に限らず、事業の見直しの姿勢を求める意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業及び下水道事業においては、人口減少が見込まれることから、行財政改革の視点を持って取り組むことを求める意見があり、下水道事業においては、下水道普及率の向上を求めるとともに、整備による費用が市民負担とならないよう、収支のバランスをとって取り組むことを期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎鈴木豊司委員長

以上で、産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

ないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、教育民生分科会、中山会長、お願いいたします。

中山会長。

○中山裕司教育民生分科会会長

それでは御報告申し上げます。去る3月5日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月12日及び13日に審査を行いました。

「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第4号平成30年度伊勢市介護保険特別会計予算」については、原案どおり可決することに多数が異議ないこと、「議案第2号平成30年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第3号平成30年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、及び「議案第8号平成30年度伊勢市病院事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見といたしましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、歳出でございますが、民生費においては、健幸ポイント事業について、医療費抑制のために、ポイント付与にとらわれない事業の継続を求める意見、民生委員の担い手確保のために、業務量や待遇の改善を望む意見、障害者地域生活支援事業について、障がい児の学童保育の充実を求める意見、成年後見制度やヘルプカードの周知を望む意見、及び共生社会ホストタウンの検討を求める意見、こども医療費支給事業について、窓口無料化の拡充を期待する意見、老人乗合バスについて、ボランティアによる移動を期待する意見、民間保育施設に対して、必要な人件費の補助を求める意見がありました。

衛生費においては、骨髄ドナー登録について、若年層も含めた拡大を求める意見、少子化対策のきっかけとなる政策づくりを期待する意見、休日・夜間診療所について、今後

の公共施設マネジメントを見据えた検討を望む意見、きれいなまちづくり推進事業について、伊勢市駅前の喫煙場所の現状把握や設置を求める意見、ごみの減量について、生ごみの水切り対策の周知を市民へ向けてしっかりと求める意見、食品ロス対策について、フードバンクやこども食堂の活用を求める意見、及び販売企業との連携強化を期待する意見がありました。

消防費においては、障がいを持つ要援護者・要支援者が災害時に適切な避難ができるよう、地域と連携した体制の構築づくりを望む意見がありました。

教育費においては、読書活動推進事業について、子どもたちが読書にいそしむことができる学校図書館機能の充実を期待する意見、次世代ＩＣＴ教育推進事業について、学校に配置されたパソコンのオペレーティングシステムの適切な更新を望む意見、いじめ防止について、高学年を重点的とした対応を望む意見、明野小学校特別教室棟増築工事について、十分な安全配慮を望む意見、文化財保護事業について、伝統芸能の継承に向けた支援を期待する意見、市民芸能祭・市美術展覧会について、指定管理者に対しての行政の関わりの強化を求める意見、部活動への外部指導者の拡充を期待する意見がありました。

次に、一般会計の歳入においては、保育料について、公平性の観点から悪質な未納者に対して、しっかりとした徴収を望む意見、生活困窮者に対する各種制度の的確な説明を求める意見がありました。

なお、介護保険制度に係る市の施策に賛同することができないことから、一般会計に反対する意見があったことを申し添えます。

次に、特別会計でございますが、国民健康保険特別会計において、制度の広域化に伴い、これまで市独自で行われてきた健診事業等が継続されることの確認、介護保険特別会計において、生活支援コーディネーターの取り組みに期待する意見、地域包括ケアシステムが理想論に留まらないように、今後のさらなる進展を期待する意見がありました。

なお、介護予防・日常生活支援総合事業に参加する事業所の割合が低く、利用者に不便が生じていることから、介護保険特別会計に反対する意見があったことを申し添えます。

次に、企業会計でございますが、病院事業において、一般会計からの繰入金及び出資金の明確化、離職者及び定年者を見据えた切れ目のない医師の確保、並びに新病院の開院に向けた節目の予算であり、特色のある病院づくりを期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。

以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎鈴木豊司委員長

以上で、教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

ないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、岡田会長、お願いいたします。

岡田会長。

○岡田善行総務政策分科会会長

去る３月５日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第１号平成30年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、３月13日及び14日に審査を行いました、「議案第１号」中当分科会関係分については、原案どおり可決することに多数が異議ないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分の歳出でございますが、総務費においては、行財政改革の推進について、事業の仕分けなどの思い切った改革、及び持続可能な自治体であり続けるための腰を据えた取り組みを求める意見、人事管理について、内部統制の検討、及び職場環境にあった配慮や工夫を求める意見、労務管理について、職員の心身の健康に配慮しながら、業務のさらなる見直し、及びジェンダーギャップの解消を求める意見、広報広聴について、市の政策形成過程に必要な情報の提供、及び市民がまちづくりに参画できるような工夫を求める意見、情報化の推進について、マイナンバーカードを活用した電子証明書の運用の早期取り組みを求める意見、ふるさと応援寄附金について、魅力ある返礼品の拡充を期待する意見、出会い・結婚支援について、企業とのネットワークを活用した精力的な対応、及び組織体制の強化を求める意見、シティプロモーションの推進について、伊勢市の活性化のために魅力をPRできる人材の育成、及び子供がふえて人口を維持できる施策の研究を求める意見、移住向け体験プログラム、及び移住交流サイトについて、戦略的かつ総合的に取り組むことを期待する意見、人口減少及び少子高齢化に対して、市長がリーダーシップを発揮して職員が一丸となり、スピード感を持って取り組むことを期待する意見、男女共同参画の推進について、若い人に向けたさまざまな啓発、及び次世代を育成するための教育を求める意見、地域自治の推進について、自治会やまちづくり協議会の活動資金や運営に対して、個別の支援を求める意見、ふるさと未来づくり制度に関して、費用対効果の検証、及び自治基本条例の制定に向けた議論を求める意見、並びに地域の力の底上げを期待する意見、防犯活動の推進について、防犯灯LED化の財政面でのメリットを市民に紹介するとともに、周知の工夫を求める意見、防犯アドバイザーの啓発活動について、福祉部門と連携しながら、再犯防止に向けての積極的な取り組みを求める意見、選挙事務について、市民が投票に行きやすい投票所の設置の検討を望む意見がありました。

消防費においては、災害対策について、大規模災害時におけるコンクリートミキサー車の活用に関しての支援協定を望む意見、昨年は台風による浸水や商店街の火災など大きな災害が発生したことから、国や県の力も借りながら防災力を高めることを求める意見、避難所の整備について、公共施設マネジメントによる既存施設の有効活用を求める意見、マンホール型トイレの整備を求める意見、避難所においては、女性の視点、及び外国人に対しての工夫を求める意見、地域防災マップの作成について、内水氾濫を想定した内容をハザードマップに反映するなどのさらなる検証を求める意見がありました。

次に歳入でございますが、市税について、人口減少による減収に備えた新たな税収と

行政需要の財源確保の対策として、法定外目的税の検討を求める意見、施設使用料について、見直しがされていないことから、受益者負担の公平性の観点を危惧する意見、ふるさと応援寄付金について、事業の主旨に共感を呼ぶような工夫、及び納税者とのつながりや移住の促進を期待する意見、市町村合併特例事業債について、効果的な活用を求める意見、市債について、将来的な人口減少を見据えた行政運営を求める意見がありました。

なお、歳出における総務費の徴税費において、マイナンバー制度について、個人情報漏えいの危険性を懸念していることから、本予算に反対する意見があったことを申し添えます。

審査における主な意見としては、以上のとおりでございます。

以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎鈴木豊司委員長

以上で、総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

ないようですのでございますので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑は終わります。

これをもって各分科会会長報告及び質疑は終わります。

続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。

続いて、「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」外9件一括に対する討論を行います。討論はありませんか。

暫時休憩します。

休憩 午前10時20分

再開 午前10時20分

◎鈴木豊司委員長

休憩を解き会議を開きます。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

現在上程されております、議案のうち、私は、日本共産党市議団を代表して、「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」と「議案第4号平成30年度伊勢市介護保険特別会計予算」の2つの議案に対して、反対の立場から討論を行います。

一般会計予算に反対する主な理由の一つは、マイナンバーの実施を含む予算であることです。マイナンバーにかかわる事故が相次いでいます。今月も20日に日本年金機構がデータ入力を委託した情報処理会社が契約に反して中国の業者に作業をさせた上、入力ルー

ルを守らないなどの違反が発覚しました。これを受けて、政府は、今月26日に予定していた年金情報とマイナンバーの連携の延期を決めました。2015年―平成27年に125万件の個人情報流出した問題を受け、昨年、実施時期を延期しておりましたが、またもや、再延期する方針で、実施のめどは立たなくなっています。

事故が相次ぎ、マイナンバーの活用に危険信号がともっていると同時に、個人情報の漏えいについても、市民の間の懸念は今なお広がり続けています。私たちは、マイナンバー制度は廃止すべきであるという立場から、このための予算を組み込むことに反対です。

2つ目の主な理由は、介護の総合事業化にかかわる予算が含まれているからです。もとより私たちは、支援や介護の必要な方々を地域で見守る体制をつくるという理念そのものに反対するものではありません。むしろ、しっかりつくっていく必要があると考えております。しかし、今進められている総合事業は、「わが事、丸ごと」というスローガンで、「政府に頼らず、自分たちの力で解決せよ」と求めるもので、中央政府の社会保障費切り捨ての責任を地域社会に押しつけるものになっています。

これらの理由から、一般会計予算に反対をします。

次に、「議案第4号平成30年度伊勢市介護保険特別会計予算」ですが、地域総合事業が始まって、事業所のほうにも、利用者のほうにも、不安と戸惑いが広がっています。

介護予防・日常生活支援総合事業で、基準緩和型のサービスに参加している事業所は、全事業所中39%にすぎません。基準緩和型のサービスは報酬が低くなり、参加に二の足を踏んでいる状況です。これまで利用していた事業所が、基準緩和型のサービスに参加しないため、要支援認定の方が、サービスを使いにくくなったというケースをお聞きしております。また、一定所得以上の方の利用者負担が1割から2割にふやされましたけれども、これは、利用料が2倍になるということで、これらの理由のためにサービスを受けることを控え、その結果、症状が悪化と、こういったことを多くのケアマネさんが心配しておられます。

本来、保険料を払い、社会保障として介護の社会化を目指して構想された介護保険制度が、この間のたびたびの制度の改変によって、ますます受けたいサービスが受けられなくなると、こういった状況が出てきております。政府が社会保障費を削るという方向を強く押し出してきている中で、住民に直接対応する基礎自治体としての、市は地域の介護を守るという立場に立ちきることが必要だと考えます。

このような理由で、「議案第4号平成30年度伊勢市介護保険特別会計予算」には、賛同することはできません。

以上、2つの議案に対する反対討論をさせていただきました。

◎鈴木豊司委員長

他に討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

ただいまから「議案第1号平成30年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を採決いたします。

す。

1 件ずつ採決してまいりたいと思います。

まず、「議案第 1 号平成30年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第 1 号につきまして、これを原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第 1 号平成30年度伊勢市一般会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第 2 号平成30年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第 2 号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第 2 号平成30年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第 3 号平成30年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」を採決いたします。

議案第 3 号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第 3 号平成30年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第 4 号平成30年度伊勢市介護保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第 4 号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立多数と認めます。

よって、「議案第 4 号平成30年度伊勢市介護保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第 5 号平成30年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」を採決いたします。

議案第 5 号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第5号平成30年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第6号平成30年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」を採決いたします。

議案第6号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第6号平成30年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第7号平成30年度伊勢市土地取得特別会計予算」を採決いたします。

議案第7号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第7号平成30年度伊勢市土地取得特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第8号平成30年度伊勢市病院事業会計予算」を採決いたします。

議案第8号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第8号平成30年度伊勢市病院事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第9号平成30年度伊勢市水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第9号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第9号平成30年度伊勢市水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に、「議案第10号平成30年度伊勢市下水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第10号につきまして、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎鈴木豊司委員長

起立全員と認めます。

よって、「議案第10号平成30年度伊勢市下水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で、本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎鈴木豊司委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午前10時31分

上記署名する。

平成30年 3 月22日

委員長

委員

委員